

府中静和寮の介護への考え方や取り組み、その他様々な情報を発信する季刊誌です。

情熱介護の話

「介護保険制度の理念」をもう一度、振り返ってみました。それは「自立支援」と「要介護状態」の軽減です。わたしたちの存在意義として、これらを実現していくためにまずできることは何かを考えました。

利用者の尊厳を損なっていることは何か？それはおむつを使用（着用）していること、おむつの中に排泄している（させている）状態そのものではないかと…！排泄機能の障害（低下）により、家族や他人に下のお世話をしてもらっていることで羞恥心が生まれ、それによって尊厳を損なうこととなります。

一方でおむつ交換等の介助をしている方にとっては、出口の見えないおむつ交換という介助を際限なく続けなければならない、双方にとって何も良いことにはなりません。

そこで、おむつを外すことはできないか、まずはできることを行っていこうと考えました。

「おむつ外しとは？」

介護力向上講習会におけるおむつ外しの定義として

- 日中布パンツを履いている
- トイレ誘導もしくはポータブルトイレへ誘導している
- 排便をトイレ（もしくはポータブルトイレ）で行う
- その状態を少なくとも2週間維持（その後も継続的にチェック）
- 排便リズムを掴んでいること

おむつ外しの取り組みの背景として、当事業所では、日々の業務の改善を行い、ケアの向上を行う目的で業務改善委員会があり、その委員会の取り組みとして自立支援を行ってきました。



おむつ外しの取り組み

便秘薬は糖質を

これまでに実施してきた内容は以下の通りです。

- ・水分を一日1500cc以上
- ・食事を、経管栄養や流動食の方も普通食へ移行
- ・下剤の中止

今回は、「おむつ外し」の中でも、「下剤の中止による自然排便」をテーマにしています。

下剤を中止しても問題ない方もおられますが、やはり自然排便は難しく、下剤を手放せない方もおられます。この中で排便リズムをつかむために、自然排便を重点的に取り組んでいくことにしました。便秘を改善するためには、食物繊維、オリゴ糖が良いと勉強してきましたが、どちらから使用していけば良い効果がでてるのか分からず悩んでいました。そんなとき、ある研修会の発表で、他施設ではオリゴ糖を使用しておむつ外しを行っていることを知り、静和寮でもオリゴ糖の使用を検討することにしました。

そこで、オリゴ糖について、専門業者を招き、職員対象の勉強会を実施しました。

オリゴ糖は、腸内の善玉菌であるビフィズス菌を増やし、腸内環境を改善して、排便を良好にする効果があるので、高齢者には食物繊維を使用する前に、オリゴ糖で腸内改善を行っていくことにしました。また、数あるオリゴ糖の中でも、乳果オリゴ糖は少量で効果が期待でき、多く摂取しても下痢を起こしにくいとのことなので、早速、使用してみることにしました。

実際に便秘だった職員も使用し、下剤を使わないと全く排便がありませんでしたが、使用して3か月目から効果が出始め、現在では下剤を全く使用せず、2日に1回の排便がみられているようです。

早速、利用者及び家族の方にもご説明し、実施しました。



取り組み状況（一例）

日常生活の中で、良い効果が現れはじめたので再度、自然排便を促すために、より具体的な取り組みを多職種で検討しました。

- 乳果オリゴ糖の増量、3包(21g)提供
- 起床時に冷たい牛乳を提供
- 間食にバナナやヨーグルトなどを提供
- 食物繊維量の見直し
- 1日水分二〇〇〇cc以上
- ポータブルトイレでの座位姿勢の見直し
- リハビリの検討

その結果、4ヶ月後には、下剤を使用しなくても自然排便できるようになりました。更に身体機能の向上がみられ、寝たきり状態から現在では写真のように元気に笑うことが増え、笑顔が見られるようになりました。職員、利用者の方と会話ができるようになり、手作り料理へも参加して、先日はパンケーキを作りました。食堂までの行き帰りは車いすで自操されています。

最後に、自然排便を促すようにするには、乳果オリゴ糖使用で効果がみられることがわかりました。便秘の方には乳果オリゴ糖を使用すればよいのでは、ないかという、職員からの声も出ています。

また、おむつ外しのためには、

オリゴ糖の力だけではなく、食事摂取量の確保、水分摂取二五〇〇cc以上、適切なトイレへの誘導、多職種間での連携が必要不可欠であり、これができなければ達成はできません。

正にこれこそが介護保険施設の機能や使命と役割ではないでしょうか？今後も多職種間、協力しておむつ外しを行っていきたく思います。そして、これからも自立支援と要介護状態の軽減につながるケアを実施し、その成果を皆さんにお伝えしていきます。



情熱介護 府中静和寮の話

想いを言葉に、言葉を形に!

まず、わたしたちの使命と職責は何か?それは介護保険制度の基本理念にもあるように、「自立支援」です。高齢者が自らの意思に基づき、自らの有する能力を最大限活かして、自立した質の高い生活を送ることができるように支援することであると謳われています。

そして、わたしたちが現在、力を注いでいること、それは「要介護状態の軽減と悪化の防止」です。わたしたちの事業所の役割は、まさにここにあるわけです。そのためにケアスタッフが存在し、意義があるのです。

介護保険施設へ入所した利用者の暮らしは継続していきますし、その人らしい暮らし方をわたしたちは一緒に作っていかねばなりません。一方で、なんらかの障害を抱えた状態で生活をしていく中で、事業所の使命は、単にできなくなったことに対して、介助すればよいわけではありません。

例として、排泄機能の障害に伴って、おむつを使用することになった場合を考えてみましょう。

ご自分でおむつ交換ができない利用者がいます。そうすると、ケアスタッフはおむつ交換という「介助」を行わなければなりません。当然、おむつの中に排泄してしまうので、その状態を放置することもできません。便で汚染されれば皮膚疾患にもつながります。そして、排泄機能をより悪化させることにもなります。

そのような状態にさせないために、ケアスタッフは「おむつ交換」という介助を通じて、その障害を解消しているわけです。これを「生活障害の解消」と言います。

そもそも最初に考えなくてはならないことは、その人の「尊厳が損なわれている」、ということなのです。

そこで、わたしたち介護の専門職として、その使命と職責を果たさなければならぬことは何か?それは「生活課題の解決」なのです。問題や課題は、おむつ交換ではありません。おむつの中で排泄することそのものが問題であり、同時に課題でもあるのです。答えはシンプルです。わたしたちが行わなければならないことは、排泄機能を回復させ、尊厳を損なわず、その人らしい生活を送れるようにすることです。そこに専門性を発揮し、同時に介護保険を支えている国民や社会に対して、わたしたちの存在意義を見出さなければならぬのです。排泄介助と排泄ケアは違う、ということです。

生活課題の解決に必要な排泄ケア、それは、

- ・おむつに排泄させないこと。
- ・尿意や便意を取り戻すこと。
- ・トイレで排泄できるようになること。

それによって、その方が外出できるようになり、社会へ参加できるようになることです。

(もちろん、人それぞれ生き方や価値観等は違いますので、このことがすべてではありません。)

ケアのプロ集団として、この「生活課題の解決」を図ることに情熱を注いでいます。しかし、ケアスタッフとして単に知識や技術、経験だけがあればよいというわけでもありません。

わたしたちは、利用者が何を望んで、どう暮らしたいのか?身体面や心理面で何が問題や課題となっているのか?そのことに「関心」を持ち、「誠実」に、そのことを「想い」、「言葉」にし、「形」にしていきたいと考えています。



経営栄養だった方が、口から食べられるようになりました!

情熱介護
スタッフの話

生活障害の解消

単なるおむつ交換
(排泄介助)

生活課題の解決

おむつ必要としない生活
(排泄ケア)

私たちの考えていることに
共感できる方を
大・大・大募集しています!

情熱介護 スタッフ募集の話 (愛ある人へ)

府中静和寮では介護職員を募集いたしております。私たちと一緒に介護の現場で働いてみませんか?一緒に考え、悩んでみませんか?一緒に楽しい笑顔溢れる施設をつくりあげてみませんか?

そんなあなたを私たちは心よりお待ちしております。

介護職員5名以上募集

応募資格

- ① 高校、専門・短期大学・大学卒業以上もしくは卒業見込みのある方
- ② 要普通自動車運転免許(含、採用時までに取得見込み)
- ③ 介護職員にあつては、夜勤勤務可能な人(月3~4回程度)
- ④ 介護福祉士有資格者優遇
- ⑤ 簡単なパソコン操作ができる事(ワード、エクセル等への文書入力作業)

主な仕事内容

利用者の自立支援と要介護状態の軽減につながるケアを行いながら、利用者ひとりひとりの暮らしの質の向上の達成に努める仕事です。単に利用者のできないところを介助する障害の解消ではなく、生活課題の解決に着目したケアです。おむつ交換を単に行うのではなく、利用者自身がトイレで排泄ができるようケアしていくことを基本としています。

自立支援に向けては、現在、常食化(普通食)おむつ外しに力を注いでいます。

詳しい募集要項はホームページ等をご覧ください。www.seiwayou.com

- 勤務時間、給与、休日等詳細は面談の折に。
- 電話連絡の上、履歴書をお持ちください。

【お問い合わせ】 府中市土生町1636-1
社会福祉法人 静和会 府中静和寮 電話:0847-41-2375(担当:山下・皿田)



尾道福祉専門学校と府中静和寮が協力し 人材育成に向けた新たな奨学金制度をスタートさせます!

制度の概要

- 介護福祉士資格を取得し、社会福祉法人の経営する事業所で働きたい学生を育成するための奨学金制度です。
- 府中静和寮の採用試験と専門学校の特別推薦枠入試に合格後、2年間の奨学金(入学金・授業料)の貸与契約を締結します。
- 修学期間の2年間は非常勤職員として勤務し、専門学校卒業後は正規職員として採用となります。
- 府中静和寮で5年間勤務すれば、奨学金の返済は全額免除となります。

府中静和寮が全額支給!!

府中静和寮で5年間勤務すれば
全額返済免除!

入学金
10万円



1年次授業料
60万円



2年次授業料
64万円



2年間で
134万円

詳しくは府中静和寮まで 電話:0847-41-2375(担当:山下・皿田)

情熱介護 コラム的な話

「お局Nのひとり言」

子どもの頃から段取りが悪く、後でできることは後回し、夏休みの終りにはいつも宿題の山に泣いていた私。今年こそは仕事をためず、目の前のことに追われず、できれば仕事をこなしたい!!

私の毎年の新年の誓い.... 願い.... 夢....

ためない!
追われない!
こなしたい!
.....

府中静和寮

入所施設サービス . . . 0847-41-2375

- 養護老人ホーム
- 介護老人福祉施設
- ユニット型地域密着型
- 介護老人福祉施設 よつば館

居宅サービス

- 居宅介護支援事業所 . . . 0847-41-6222
- 通所介護事業所 0847-41-7688
- 短期入所生活介護事業所 . . 0847-41-2375
- コミュニティサービス . 0847-41-2375
- 地域交流スペース